

藤永田造船所争議

相變らず煮込切らず

職工側今後の出處に依つては

一時閉鎖か

会社側注意書を貼り出す

藤永田造船所労働争議は依然として休業状態を維持し一部職工のみ就業し残り八千七百二十一人より本工場車輦階上下及び工場主眼を代表して永田三四郎氏外三名職工は調査員執行員等と合して十四名を

會見し工場主眼の回答に對し職工側は同意せず午後一時気分不調にて相方共別九職工側は敷津工場に引上げ全工に經過報告をなし午後四時一同牛籠裡に退避解散に及びり其の内幹部連中は直に九條三軒(家)俱集部に集合し今後の對策を講究すべく十人に対し八人の

を維持する場合には工場主眼としては満足の用意はいたしてありませぬ職に休業の意なきし居たり一方工場内には左の注意書を掲示し一職工に注意を促し居たり

御注意
諸君より段々御申入れに對し退社所は充分誠意を以てこの回答書に差上げましたからごうが平常調理仕事をして下さい、今の状況では造船所が立ち行かまざるので止むを得ず適當の方法をせよと考へ下されよう望みます

意業から
罷業へ
概工側の態度
八日午後二時工場主眼より始り同様の回答を爲したる所翌後通

たかかび
高飛車に出た会社側

藤永田造船所労働争議は依然として休業状態を維持し一部職工のみ就業し残り八千七百二十一人より本工場車輦階上下及び工場主眼を代表して永田三四郎氏外三名職工は調査員執行員等と合して十四名を

同情罷業進行
女安會系職工は同情罷業進行の色を鮮明に示して来たが早くも小野造船所職工二千名、神戸造船所職工八百名、相模造船所職工二百名、増田伸銅所職工三百名、油谷鐵工所職工二百名、豊鐵工所職工百名は同情罷業に進行した情状々々に倣つて同情罷業の舉に出るらしい形勢である

兩鐵工所演説
藤永田造船所労働争議に同情罷業を断行した油谷鐵工所組職工所は組合主催で八日午後六時から北區天神區姉五丁目鉄見寺で大演説會を開き女安會鐵工組合労働者も熱意を揮へり

神戸も聯合演説
神戸鐵工組合神戸印刷工組合兵庫鐵工組合女安會神戸聯合會關西労働同盟會聯合主催で八日午後六時より神戸新開地労働會館にて大演説會を開き女安會豊彦女安會の西尾東隣岡氏等藤永田労働争議に關し演説に批判を試みたり

したものに更に説明を加へたものを同時に各自宅へ送附せしこれに得心の者は十一日迄迄に工場事務所へ回付すべき様中添へてし申込みなきものは罷業の意志なきものを見做し整理する旨發表している

拜訪日米新工機職工二司代表者より頭頭又は要求を照し願ひ申出らるる事柄の事柄に付し其部代表者各位の説明を聴取り威可御意に副ふべく誠意な悉くして回答を呈し候共未だ各位の御説明を得ざるもの之れ爲へ前日米各社の行脚恰、罷業の非難を續けられ候段全く辭乃の意志徹底の途なき爲りと存候得非此種罷業又は意業か振りられるに依ては職工側の場ふるさるるにあらざるのみならず各社の不利益も夥からず存候に付本日工機各所へ指示し要求は要求として宛に角年の常御就職

せられたる日米各社代表者各位に候然るに不幸にして職工各位の行動に改まる機微なく俟然とて不慮の暴去らざるは甚だ遺憾に堪へず無事歸朝九日より三日間臨時休業をなし各位の御考慮を求むることを致候御了知申上候
大正十年六月八日
藤永田造船所